

心に働きかける教育を

大阪市議会委 山中氏が要望

日本共産党の山中智子大
阪市議は12日の市議会教育
こども委員会で、聴覚に障
害のある児童生徒への教育
施策を取り上げました。

難聴学級センター校での
障害を認識し、困りごとを
解決する力を培う取り組み
など卓越した教育を紹介。
センター校以外に通う児童
生徒も多数いることから
「学校によって支援の質に
差が出ないよう最低限こ

までは保障する標準化を
進めてほしい」と求めまし
た。

聞こえない人にとって手
話の大事さを強調し、「教
育の場で手話や、ろう者に
ついて理解を広げることが
重要」だと施策の拡充を求
めました。教員研修などで
専門性を図っているとの答
弁に「意欲ある教員を継続
的に育てる仕組みが不可
欠」だと強調しました。

山中氏は「このセンター
校のような一人ひとりの心
に働きかける取り組みはす
べての学校に求められてい
る。学級の規模を小さくす
る土台づくりが第一歩」だ
とし、少人数学級拡充を独
自で行うよう求めました。



質問する山中氏＝
12日、大阪市議会